



2月17日 鏡小学校でオンラインによるSDGs学習会 地元企業から学ぶSDGs



鏡小学校でオンラインによるSDGs学習会が行われ、6年生67人が参加しました。

西田精麦株式会社(新港町)の長根寿陽としほろ新規事業推進室長から、発展途上国の貧困や二酸化炭素排出量などを背景に、SDGsに取り組む目的や同社がアジアで取り組んでいる農業支援の話がありました。

2月14日 スマートシティの推進に関する連携協定 行政サービスの高度化を目指して



NTT西日本熊本支店と本市が、デジタル技術を活用したスマートシティやつしろの推進に関する連携協定を締結しました。

この協定で防災情報通信システムの機能拡充やICT教育の環境整備など、地域課題の解決に向けた最適なデジタル技術の活用を進めていきます。

2月21日 食べられる食器を使った料理開発を報告 食材から食器まで八代産を提供



中華料理店を営む武部孝太郎さんと食用イグサの製造販売会社を営む稲田剛夫さんが市役所を訪れ、イグサパウダーを使った食べられる食器とその器に合うメニュー開発の進捗を中村博生市長に報告しました。食器は、縦12cm横18cm深さ3cmの楕円形で、もなかの皮より硬めの食感です。

2月19日 熊本八代K-1災害復興イベントの開催報告 八代に勇気と希望を与えたい



K-1選手の安保瑠輝也選手、K-Jee選手、朝久裕貴選手、朝久泰央選手らが市役所を訪れ、熊本八代K-1災害復興イベントの開催を中村博生市長に報告しました。このイベントはECO信頼サービスが令和2年7月豪雨災害からの復興祈願として2月19日、20日の2日間開催しました。

2月25日 緒方ハルエさんから寄付金贈呈 介護や福祉などに活用してほしい



緒方ハルエさん(横手町)が市役所を訪れ、寄付金200万円の目録を中村博生市長に手渡しました。

緒方さんは、仮設庁舎の窓口に立ち寄った時、市職員に親切にしてもらったことをきっかけに市に寄付をしたいと考えるようになり、新庁舎の完成に合わせて寄付しました。

2月21日 本市・三菱商事・ホームサーブと連携協定 スマートシティやつしろの実現へ



本市、三菱商事株式会社、ホームサーブ株式会社の3者で地域振興に関する連携協定を締結しました。これは、デジタル技術の活用をおとした本市の一層の活性化や市民サービスの向上を目的としたもので、三菱商事が自治体のデジタル技術の活用を包括的に支援するのは全国で初めてです。

みんなの写真館

4月号から始めました新コーナー「# みんなの写真館」。このコーナーでは毎月決められたテーマに沿った写真を皆さんから募集します。応募があった写真は広報やつしろや八代市公式 Twitter に掲載します。

テーマ「門出」



タイトル：卒園
撮影場所：八代宮
ペンネーム：おとひめ



タイトル：産まれて20年。母になって20年。
撮影場所：八代トヨオカ地建アリーナ
ペンネーム：ゆーきゃん

5月号のテーマは「市の花”桜”」です

5月号掲載分の締め切りは4月6日（水）です。
その他、応募方法などは右のQRを確認ください。
たくさんの応募をお待ちしています。



2月25日 大規模災害時の連携訓練 防災・減災のための連携強化



総務省と連携し、大規模災害発生時に被災地の通信サービスを迅速に復旧させるため、国・県・市及び通信事業者などが連携して初動対応を行う防災訓練を実施しました。令和2年7月豪雨発生時、通信設備が被害を受け、避難情報の伝達や安否確認作業に支障が生じたことを踏まえ取り組んだものです。

3月2・3日 ひなぐ雛祭りの竹灯り 日奈久を包む幻想的な灯り



ひなぐ雛祭りのイベント「竹灯り」が日奈久温泉いこいの広場で行われ多くの人々が訪れました。会場は竹灯籠や色とりどりの花模様のライトで埋め尽くされ、訪れた人たちは写真を撮ったり、幻想的な灯りに見入ったりしていました。下村希乃花ちゃん（4歳）は「お花が一番きれい」と笑顔で話しました。

3月5・6日 復興を祈念して山道を駆け抜ける 第1回球磨川リバイバルトレイル



100km超の険しい山道などを2日間で駆け抜ける第1回球磨川リバイバルトレイルが令和2年7月豪雨災害からの復興支援のために五木村、山江村、水上村、八代市で開催されました。

172kmを走る球磨川コースに207人、106kmを走る川辺川コースに191人のランナーが出場しました。